

## ■6月22日

## 山形空港、台湾旅行社がチャーター便計画、今秋紅葉シーズン

台湾の旅行会社が今秋の紅葉シーズンに、県内空港へのチャーター便の運航を検討していることが20日、分かった。庄内空港で昨年12月、旅客機がオーバーランしたトラブルの影響で、復興航空が冬季を含む7か月間、安全上の理由から庄内、山形両空港の使用を取りやめている。

読売新聞によると、県交通政策課によると、台湾で複数の旅行会社が航空会社数社に対し、山形空港へのチャーター便運航を申請しているという。

県内を訪れる台湾の観光客数は、外国人観光客の約6割を占める。庄内空港のトラブル発生後、チャーター便運航の主力だった復興航空が運航基準を強化。10月から翌年4月までの間、滑走路が3000メートル未満の空港の使用を取りやめたため、今年台湾からのチャーター便が飛んでいない。

(読売新聞)6/21

<http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/yamagata/news/20130620-OYT8T01509.htm> (-> <http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/yamagata/news/20130620-OYT8T01509.htm>)

## AIRDO、新千歳—神戸線就航、初便搭乗率90%超

AIRDOは21日、新千歳—神戸線を就航させた。出発初便に合わせて、新千歳空からの初便搭乗率は90%を超えた。首都圏に次いでニーズの高い関西圏に、エア・ドゥとして初就航した。

同社によると、神戸空港は大阪や京都に近い利便性から高いニーズがあり、資本関係のある全日空が持つ同路線の3往復中、2往復を譲り受けた形となり、全日空とは共同運航便を行う。

使用機材はボーイング737-500(126席)で、1日2便で運航する。また、平均搭乗率65~70%を目指す。

なお、同路線には既にスカイマークが就航している。

(苫小牧民報)6/21

<http://www.tomamin.co.jp/2013c/c13062101.html> (-> <http://www.tomamin.co.jp/2013c/c13062101.html>)

(神戸新聞)6/21

<http://www.kobe-np.co.jp/news/shakai/201306/0006094531.shtml> (-> <http://www.kobe-np.co.jp/news/shakai/201306/0006094531.shtml>)

## 沖縄観光コンベンションビューロー、PEACH(LCC)利用、韓国からの旅行客呼び込みを計画

沖縄観光コンベンションビューローは20日、韓国の旅行代理店やメディア関係者6人を招き、2泊3日の視察ツアーを行った。

これは、ピーチ・エアーションが14日に「関西～石垣」線へ就航し、同社の「仁川(韓国)～関西」との組み合わせ、韓国から石垣に観光客を呼びよせる企画の一環。

(八重山毎日)6/21

<http://www.y-mainichi.co.jp/news/22692/> (-> <http://www.y-mainichi.co.jp/news/22692/>)

## ノックエア(LCC)、タイ証券取引所へ上場

タイ国際航空系の格安航空会社ノックエアラインズ(ノックエア)が20日、タイ証券取引所(SET)に上場した。新規株式公開(IPO)で調達した32.5億バーツは旅客機の購入、事業拡張などに充てる。

ノックエアは2004年、マレーシアの格安航空大手エアアジアのタイ進出に対抗するため、タイ政府系資本とタイ王室系資本が中心となり設立された。当初は筆頭株主であるタイ航空の格安部門と目されたが、タイ王室に近い名門サラシン家出身のパティエー社長が独自経営を行い、タイ航空とはぎくしゃくした関係が続いた。

なお、IPO後の出資比率はタイ国際航空39.2%(IPO前49%)、ノックエアのパティエー・サラシン社長らが出資するエイビエーション・インベストメント・インターナショナル社10%(同25%)、タイ王室財産管理局4.8%(同6%)、パティエー社長4%(同5%)、タイ王室系サイアム・コマーシャル銀行4%(同5%)、タイ免税店最大手キングパワー・インターナシヨ

ナル4%(同5%)——など。

(newscli.be)6/21

<http://www.newsclip.be/article/2013/06/21/18058.html> (-> <http://www.newsclip.be/article/2013/06/21/18058.html>)

#### サモア航空、特大座席を導入

(CNNによると)

世界で初めて体重別運賃を導入した南太平洋のサモア航空が、今度は「特大サイズの乗客のための特大座席」を導入する。

サモア航空のクリス・ラングトン最高経営責任者(CEO)によると、特大座席は隣り合った2座席を組み合わせて作り、前列の座席を取り払って足元のスペースも確保した。26日から一部の便で試験的に導入予定。

「体重130キロ前後になると階段を上がり切るのも難しい」(ラングトン氏)という現状に配慮して、搭乗用タラップは階段をやめてスロープ式にした。

同航空は業界で唯一、乗客の体重によって運賃を決める方式を採用して物議をかもししてきた。特大座席の導入は、この方式の導入によって運賃が高くなった乗客の快適性を高める狙いがあるという。

米誌フォーブズの2007年の記事によれば、サモアは「太りすぎ」の人が人口の80%を占める。ラングトン氏も「中には210キロを越す乗客もいる」「160キロ前後の乗客も多く、100~130キロが約40%」と話す。

同空港が新運賃体系を導入した昨年11月以降のデータによれば、体重が160キロを越す乗客は、50人ごとに3~4人の割合で存在するという。

サモア航空は地元のフィットネスクラブと提携して、減量に成功した会員の運賃を割り引く制度も導入している。

(CNN)6/21

<http://www.cnn.co.jp/business/35033673.html> (-> <http://www.cnn.co.jp/business/35033673.html>)

#### ライオンエア(LCC)、2013年3月期、年間旅客数、1億1000万人 拡大目標

アイルランドの格安航空会社(LCC)ライオンエア・ホールディングスは、成長見通しを引き上げるとともに、投資家への還元を増やす意向を明らかにした。また、年間旅客人数を年間5%増から7%増に引き上げ、2019年3月期までに1億1000万人に拡大する目標を示した。

同社は、向こう2年間位最大10億ユーロ(約1300億円)を投資家に還元する予定だとした。2014年3月末までの1年間に4億ユーロの自社株買いを行い、更に翌年6億ユーロを特別配当から自社株買いの形で投資家に還元を行う。

(WSJ)6/21

<http://online.wsj.com/public/page/news-arts-movies-music.html> (-> <http://online.wsj.com/public/page/news-arts-movies-music.html>)

#### 韓国、インターネットチェックイン旅客、出国手続き簡素化

国会国土交通委員会はインターネットチェックイン乗客の出国手続きを簡素化する「航空安全及び保安に関する法律改正案」を議決した。改正案が通過すれば、来年4月からはインターネットで航空券をチェックインした後、航空会社のカウンターによらずに、空港出国場にすぐに入れる。

改正案は空港運営者が乗客の提示した旅券情報と航空会社が提供する乗客情報が一致するか確認し、偽造搭乗券所持者であることが発覚した場合、保護区域進入を遮断するよう規定した。

同部は新制度により航空保安が強化されるほか、乗客が出国するのにかかる時間が短縮され利便性も高まると期待している

(中央日報)6/22

<http://japanese.joins.com/article/027/173027.html?servcode=400&sectcode=400> (-> <http://japanese.joins.com/article/027/173027.html?servcode=400&sectcode=400>)

(yonhapnews)6/21

[http://www.chosunonline.com/site/data/html\\_dir/2013/06/21/2013062101168.html](http://www.chosunonline.com/site/data/html_dir/2013/06/21/2013062101168.html) (-> [http://www.chosunonline.com/site/data/html\\_dir/2013/06/21/2013062101168.html](http://www.chosunonline.com/site/data/html_dir/2013/06/21/2013062101168.html))